

保育体験事業を終えて

かみたのこども園園長 井上朱美

11月からの保育体験には、30名の方に参加していただきました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

参加された方のアンケートでは、「普段の園での様子を見られてよかった」「先生の接し方を見て、家庭でも子どもへの接し方を見直そうと思った」「家では甘えているが、園では子どもなりにがんばっていることがわかり、安心した」などのご意見をいただきました。また、「とても良いけいけんになった。今後もこのような機会をもってほしい」などのお声も多く、園児にも保護者の方にとっても、この事業を通してのメリットが大きかったと感じております。

この保育体験は、保育のお手伝いをしていただくのですが、事業名は「親支援事業」です。なぜ、「親」の「支援」になるのでしょうか。

家庭の中で、目の前の自分の子供だけを見ていると行き詰まってしまう事もあります。昔なら、近所にたくさん子育てをしている家庭があって、「うちだけじゃないんだな」「そんなに気にしなくても大丈夫かな」と感じる場面も多かったはずですが、今はお母さん、お父さんも忙しい方が多く、のんびりと子育てを楽しむゆとりのない方も少なくありません。

保育体験という場で、集団の中のわが子を、少しだけ離れたところから客観的に見る。そのことが親にとっても、子どもにとっても、意義のあることなのだと思います。「ああ、子どもって、こういうものだよね」と感じていただければ十分です。子ども達も何日も前から「ママ先生」「パパ先生」が来てくれるのを楽しみにしていて、当日は大興奮でした。

童心に戻って鬼ごっこなどでたっぷり遊んでいただいたり、読み聞かせにチャレンジしたり、またお仕事や特技を活かしていただいた方も多く、感謝申し上げます。いっぺんに話しかけられても、一人ひとりに優しく丁寧に関わっていただき、子ども達の顔も一層明るく輝いていました。今回の体験をこれからの皆様の子育てに少しでも役立てていただけたらと思います。

まだまだ未熟な私たちではありますが、子どもたちの健やかな成長のためにご家庭と手を取り合って、新たな気持ちでがんばりたいと思います。

本当にありがとうございました。

2018 12月